

令和6年度第2回半田市高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会議事録

開催日時	令和7年1月30日（木）	14時00分～16時00分
開催場所	半田市役所4階 庁議室	
会議次第	1. 自己紹介 2. 会長あいさつ 3. 議事 （1）高齢者・障がい者虐待防止に関する協議について ① 報告事項 令和6年度高齢者虐待相談件数及び内訳について 【資料1】 令和6年度障がい者虐待相談件数及び内訳について 【資料2】 令和6年度活動報告について 【資料3・4】 ② 協議事項 令和7年度活動計画について 【資料5】 高齢者虐待の事例について 【資料6】 障がい者虐待の事例について 【資料7】 （2）障がい者差別に関する協議について ① 報告事項 令和6年度障がい者差別に関する相談事例について 【資料8】 令和6年度障がい者差別に関する活動報告について 【資料9】 ② 協議事項 令和7年度障がい者差別に関する活動計画について 【資料10】	
出席委員 (欠席委員)	新美 親紀、栗田 友紀、岡崎 将司、佐々木 栄治、二宮 琴子、松永 健嗣、山崎 千佳、小川 純一、今井 友乃、杉江 徳長、竹部 益世 (伊藤 大介) ※委員名簿順（敬称略）	
事務局	高齢介護課：沢田、茶谷、岩本（秀）、田中、岩本（美）、吉川 地域福祉課：山本、村上、岡田、天野、中村 半田市包括支援センター：山本 半田市障がい者相談支援センター：加藤	

議 事 録

○開会行事

- ・資料確認、欠席者報告、会議成立報告、委員の変更

1. 自己紹介（新委員のみ）

2. 会長あいさつ

3. 議事

【第一部】高齢者・障がい者虐待防止に関する協議について

① 報告事項

（１）令和６年度高齢者虐待相談件数および内訳について

資料に基づき事務局から説明（資料１）

（委 員） 虐待の相談について、この５年間で相談内容に変化はありますか。

（事務局） 件数としては身体的な虐待が最も多いです。軽微なものも含めると施設での虐待が増えてきている印象があります。

（委 員） 警察からの相談が６件とありますがその中で刑事事件になったものがありますか。

（事務局） １件あります。内容としては、精神疾患を持った方が包丁を夫に向けて拘留されたというものです。

（委 員） 警察の方でも６件の内容について１件が刑事事件、その他はDVの相談と把握しています。相談の内容はほとんどが家族間の問題で今年に入ってからすでに３件相談を受けています。今後も注意して対応していきますのでよろしくお願いします。

（２）令和６年度障がい者虐待相談件数および内訳について

資料に基づき事務局から説明（資料２）

（委 員） 虐待でないと判断したものが１３件ということですが対象ではないと判断した理由はどういったものでしょうか。

（事務局） 施設虐待の場合、訪問して聞き取りを行ったり監視カメラをチェックしたりしますがその結果虐待の事実が確認できず対象ではないと判断することがあります。また、通所施設の職員から身体にアザがあると報告を受けて事実確認を行ったところ、皮膚疾患だと判明したというケースもありました。

（委 員） 高齢者虐待の方が多いイメージだったので、障がい者虐待の相談件数の方が多いというのは驚きでした。実際に対象となるケースはどちらの方が多いのでしょうか。

（事務局） 高齢者虐待の方が件数としては多いと思います。ただ、高齢者虐待は深刻化しないと表に出てこないため相談件数としては少ない数字になっているのではないかと思います。

（会 長） 高齢分野に比べ障がい分野の方が些細なことでも相談が入るイメージが

あるので、そこが件数として表れているのではないのでしょうか。高齢の方に対し世話をしあっているという感覚の方が多いと感じるので支援者に対する意識づけが大切だと思います。

(事務局) 現在も行っていますが研修会等で些細なことでも通報、相談してもらえよう改めて周知していきます。

(委員) 虐待と認定したものの中で、繰り返し虐待が行われたケースはありましたか。

(事務局) 一度虐待の対応として終結したもので再度通報が入り、改めて虐待として認定したものがありません。

(3) 令和6年度活動報告について

資料に基づき事務局から説明(資料3・4)

(委員) 市民として参加しましたがイベントの告知などが分かりづらかった。広報の方法を工夫すればより多くの方に参加してもらえそうです。

(事務局) 様々な形で広報はしていますがPRの仕方に苦慮しているので良い方法があればぜひご意見いただきたいです。

(委員) 宣伝カーなどはどうでしょうか。開催の少し前から地域の方に宣伝すれば参加してもらえそうです。

(事務局) 今後の参考にさせていただきます。また、タイトルに「虐待」という言葉が入っていると参加を躊躇する方が多いため、より多くの方に参加してもらえるよう他の講演会と併せて開催するなどの工夫をしています。

(委員) 確かに虐待というタイトルが参加しにくい要因となっている可能性はあると思うので、参加しやすいタイトルをつけるなどの工夫は必要だと思います。

(委員) 虐待というテーマは身近なものとして捉えられず、積極的に参加するのは難しいと思います。民生委員として協力できることがあれば声をかけていただければと思います。

(委員) 講演会以外でリスクの高そうな家庭に対して啓発等を行っている事例があれば教えてください。

(事務局) ケアマネから事前に相談があり、虐待発生防止のために介護者に対して呼びかけを行ったことがあります。

(委員) 虐待に近所の方が気付いても、情報の発信源が特定されることを恐れたりして相談しにくいと思います。社協の困りごとシートのようなものをもっと活用すれば相談しやすくなると思います。

(会長) 当事者だけでなく気付いた方が報告してくれれば市役所としても助かると思うので、様々な方から報告してもらえるような工夫が必要だと思います。

② 協議事項

(1) 令和7年度活動計画について

資料に基づき事務局から説明(資料5)

(委員) 障がいの虐待研修で訪問看護の事業所は対象になっておらず、事業所が

研修を行いたい方法が分からないといった話を聞くのですが、何か方法はありませんか。ホームページなどで案内があると良いかと思います。

(事務局) 障がいの事業者向け虐待防止研修は現状福祉サービス事業所に周知を行っていますがご意見いただいた通り周知していこうと思います。

(委員) 高齢分野の方はどうでしょうか。

(事務局) 全事業所に対し周知を行っています。また、今年度は個別に研修をやってほしいと訪問看護の事業所から依頼があり出前講座を行いました。

(会長) 障がいも出前講座は可能ですか。

(事務局) 可能です。補足になります。障がい分野における訪問看護、訪問リハビリについては障がい者福祉サービスではなく健康保険で使うサービスなので線引きをしているわけではないですが周知できていませんでした。ただ、ご家庭に入る訪問看護、訪問リハビリの方が虐待を発見する可能性もあるので今後については参加できるよう周知していきます。

(委員) 活動計画に関しては、イベント等の企画の部分だけではなくどのような体制で業務を行っているか、緊急時の対応方法など仕組みの部分を資料に記載してほしい。

(会長) 普段やっていることをもっと載せてもらえると良い部分、悪い部分の議論に発展させやすくどのように変えていくか参考になるとと思います。

(委員) 半田市でスマホの使い方講座を開催しているのであれば、そこでイベントの告知などを行うのはどうでしょうか。

(事務局) スマホ教室は開催しているので今後のイベント告知の場として活用していきます。

(委員) 講演会は話を聞いて終了なののでしょうか。

(事務局) 参加者の方々にも一緒に考えてもらえるようにクイズ形式等での開催を考えています。

(委員) 講演会を聞いて気付きを得る方も多いと思うので講演会後に相談会を併せて開催すると非常に良いと思います。

(事務局) 過去には市役所の職員で寸劇をやったりしたこともあります。アンケートで気付きを得たという人も多かったので相談会についても参考にさせていただきます。

(2) 高齢者虐待の事例について

資料に基づき事務局から説明(資料6)

(委員) この方の年金はどれくらいありますか。

(事務局) 月額6万5千円程度です。他に手当てが5千円ほどあったと思います。

(委員) ショートステイを利用して一人で生活できているのですか。

(事務局) はい。現在もショートステイ利用中です。

(委員) 障がいの特性は何かありますか。

(事務局) 重度の知的障がいがあります。また、自分が納得できないと怒りっぽくなってしまう。

(委員) 姉は貯金が結構あるということですが弟はどうですか。

(事務局) 弟の方にも多少貯金があります。ただ、障がい年金だけでは介護保険の施設には入れないので知多地域権利擁護支援センターの方に入ってもらい

ながら進めています。

(会 長) 以前からこの家庭のことを把握していたのであればもっと早く対応できたのではないのでしょうか。65歳になる前から介護保険を利用することを想定して動くべきだったと思います。

(事務局) 施設入所については以前から進めていましたが、介護保険施設への入所を知的障がい理由に断られるケースもあり、なかなか決まらず現在に至ります。

(事務局) 普段、もっと困難なケースを扱っていますが今回のようなケースで障がいを理由に入所を断れるということがあるのか少し疑問に思います。

(事務局) 介護保険施設は入所に高額な費用が掛かるので金銭面が影響して断られたのかもしれませんが。

(事務局) 65歳になったからといって必ず介護保険に切り替えなければいけないという制度にはなっていないので障がいの特性上、介護保険のサービスではそぐわない場合や介護保険のサービスに無い場合は、障がい福祉サービスを提供することも可能です。

(3) 障がい者虐待の事例について

資料に基づき事務局から説明(資料7)

(委 員) 今回のケースにおいて妹の子がとても心配です。幼少期にこのような経験をしてしまうと脳の発達に影響が出ることも考えられます。妹の子に対しての支援体制はどうなっていますか。

(事務局) 別世帯で暮らすことを提案していますが、妹は夜勤をしており母に子の面倒を見てもらっているため別居が難しいようです。また精神不安定となり引きこもっているとありますが、これだけが原因ではないようです。

(委 員) 自宅に戻ったとありますが同居人が拒否した場合はどうなりますか。

(事務局) 実際に兄は戻ることに拒否していましたが母親が受け入れを許可し現在に至ります。母と本人の二人を別世帯にすることを検討しています

(委 員) こういった方の受け入れ施設はないのでしょうか。

(事務局) 他者に手が出る方は施設の人員配置的にも受け入れが難しいようです。

(委 員) 住居を分ける場合、二人が住む家はあるのでしょうか。

(事務局) 自宅近くに借りているアパートがあり本人は移る意思があるが、母が認めないため移り住むことができていません。

【第二部】障がい者差別に関する協議

①報告事項

(1) 令和6年度 障がい者差別に関する相談事例について

資料に基づき事務局から説明(資料8)

(2) 令和6年度障がい者差別に関する活動報告について

資料に基づき事務局から説明(資料9)

②協議事項

(1) 令和7年度 障がい者差別に関する活動計画について

資料に基づき事務局から説明(資料10)

(会 長) 学童における障がいのある方の受け入れについてはどうなっていますか。

(事務局) 自立支援協議会の中で委員の方から「障がいのある子が学童に申し込めないケースがあると聞いた」という話題が出ました。事務局から今年度よりアドバイザーを配置して障がい理解への促進に努めていると説明がありました。ただ、表向きの理由にはしていないが面接の時点で障がいを理由に断られてしまう現状があるという問題は無くなっていないため、市で受け入れをまとめて行い各クラブに割り振ることできないのかという提案などがありました。

(会 長) 今後はどのような対策をとっていく予定ですか。

(事務局) 協議会で提案していただいた意見などをもとに障がいを理由に断られない仕組みづくりを行っていきます。

(会 長) 難しい問題だとは思いますがそれに対してどう対応していくかが重要だと思います。

(委 員) 子どもを育てやすい環境は地域にとっても必要だと思います。また、委託事業が適切に運営されているかどうか確認する仕組みづくりも必要だと思います。

(委 員) 次回の虐待防止連絡協議会で実際にどう対策しているか経過を報告してもらえればと思います。

(会 長) 権利擁護支援センターは虐待についてホットライン窓口として相談窓口を持っており、相談を受ける中で半田市が苦勞しているということは理解していますので、大変だとは思いますが応援しております。

(会 長) 本日の議題はすべて終了いたしました。ありがとうございました。

(事務局) 委員の皆さまには、長時間に渡りご審議いただきありがとうございました。本日いただいた貴重なご意見は、今後の対応等に活かしていきたいと思いますので今後とも本協議会へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、事務連絡がございます。本協議会の委員の任期は2年であります。今年度3月をもちまして任期満了となりますので、実質的には今回の協議会が最後となります。ありがとうございました。令和7年度からの協議会について、再任をお願いする方もいらっしゃるかと思いますので、その際は宜しく願いいたします。

第1回の開催日につきましては、6月26日(木)又は7月24(木)を予定しております。

それでは、これを持ちまして、令和6年度第2回半田市高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会を閉会いたします。

本日は誠にありがとうございました。

(以上)